

10月は3R推進月間です。

秋田から始めよう! 3R・資源循環による持続可能な社会



©Odate city—home of Hachi & Akita dogs

令和5年

10/25 水

13:00~16:30
(受付開始 12:15)

in 秋田

第17回 3R推進全国大会

会場

あきた芸術劇場ミルハス 中ホール 秋田県秋田市千秋明德町2-52

主催 第17回3R推進全国大会実行委員会

(環境省、環境省東北地方環境事務所、秋田県、3R活動推進フォーラム)

お問い合わせ先

実行委員会事務局 ((公財) 廃棄物・3R研究財団内) TEL: 03-6908-7311



リデュース・リユース・リサイクル

第Ⅰ部 13:00▶14:20 **大会式典**

循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰

3R促進ポスターコンクール最優秀賞表彰

第Ⅱ部 14:20▶16:30 **記念シンポジウム**循環型社会の実現に向けた共創とイノベーション
～2050年カーボンニュートラルの実現に向けて～**基調講演** 「3R・循環経済の加速化に向けて」**講演者** 3R活動推進フォーラム会長、東海大学副学長・政治経済学部経済学科教授、慶應義塾大学名誉教授、中部大学名誉教授 細田 衛士 氏**パネルディスカッション** 「循環型社会の実現に向けた共創とイノベーション」**コーディネーター** 3R活動推進フォーラム副会長、特定非営利活動法人持続可能な社会をつくる元気ネット顧問 崎田 裕子 氏**パネリスト**

- ・秋田エコプラッシュ株式会社専務取締役 小泉 剛 氏
- ・認定特定非営利活動法人環境あきた県民フォーラム理事長 佐藤 充 氏
- ・総合地球環境学研究所教授 浅利 美鈴 氏
- ・秋田県生活環境部環境整備課長 大門 洋 氏
- ・環境省環境再生・資源循環局循環型社会推進室長 近藤 亮太 氏

3R推進展示コーナー 10/25 **水** 12:00～16:45
あきた芸術劇場ミルハス 中ホール メインホワイエ

- 令和5年度3R促進ポスターコンクール入賞作品コーナー
- 循環型社会形成に関連する先進的な取組の展示コーナー

環境省、環境省東北地方環境事務所、秋田県、秋田県内のNPO・企業団体、3R推進団体連絡会（容器包装リサイクル法関連8団体）、リデュース・リユース・リサイクル推進協議会、（NPO）持続可能な社会をつくる元気ネット、3R活動推進フォーラム 他

施設見学会 10/26 **木** 9:15～12:00
秋田洋上風力発電、秋田バイオガス発電所**事前申込制
先着順**

- ①国内初となる商業ベースでの大型洋上風力発電施設について、秋田港の「AOW風みらい館」で説明いただきます。
- ②食品廃棄物をメタン発酵させ、生成したバイオガスで発電する「秋田バイオガス発電所」を視察します。

※全国大会参加申込者に限ります。

令和5年度循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰

表彰者のご紹介（順不同・敬称略）



3R活動優良企業（企業）

カットショップション

青森県

平成9年の美容院の開店時から、施術方法の見直しによる薬剤の使い過ぎの防止、容器包装の簡素化した商品を使用し、お客様へも推奨をしている。さらに、希望したお客様の頭髪をヘアドネーションへ寄付する等、お客様も巻き込みながら廃棄物減量に取り組んでいる。

エコシステム秋田株式会社

秋田県

平成30年度より東北地方等で排出されるリチウムイオン電池を受入れ、熱処理、破碎、選別により、アルミ、鉄、銅や、コバルト、ニッケル、リチウム含む黒色粉体を回収している。

株式会社 斗々屋

京都府

平成29年よりごみを出さない「ゼロ・ウェイスト」を掲げた日本で初めてのスーパーマーケットを開業。繰り返し利用できるびんなどをお客様に持参、又はレンタルしていただき、量り売り形式で食品を販売するほか、ゼロ・ウェイストショップの開業サポートも実施している。

JFE条鋼株式会社水島製造所

岡山県

平成20年から、自治体が集めた使用済み乾電池を受入れ、主に鉄、マンガン、亜鉛を回収。現在までに6万トンを超えて再資源化している。また令和3年からは難処理物であるスプリングマットレスを再資源化。さらに平成30年の西日本豪雨の災害廃棄物の処理を受け入れるなど資源の有効活用と地域の復興に貢献している。

株式会社 丸山喜之助商店

鹿児島県

平成19年から事業所から排出される売れ残り弁当などの食品廃棄物のたい肥化を開始。その後取組規模を拡大し、平成25年度からは、日置市内全域の家庭を対象に生ごみのたい肥化を実施している。これまで処理した生ごみは6,500tを超え、約300tのたい肥は地元自治会や農家に無償で還元している。



3R活動推進功労（団体）

炭やきで夕日の松原まもり隊

秋田県

平成14年から秋田県立大学周辺の松林において、松くい虫が寄生する枯木を探索し、伐採、炭化している。できた炭は参加者等への配布や道の駅で販売している。活動の継続により松枯れ被害量は減少する成果を上げている。

一般財団法人 杉並正用記念財団

東京都

本団体は、昭和40年代、杉並清掃工場の建設に関連して起きた「東京ごみ戦争」の当事者が母体。設立の昭和55年から、近隣小学校を対象とした環境作品展の実施、さらに地域の環境保全やコミュニティの維持などで功績をあげている。

特定非営利活動法人 関西ワンディッシュエイド協会

奈良県

平成18年から活動を開始し、平成20年からは毎月もったいない食器市を200～300人の参加者で開催し、生駒市や奈良市との協働事業に発展した。また、食品加工施設から排出されるサツマイモの端材の商品化を進めるなど、食品ロス削減の取組も実施している。

一般社団法人 BRIDGE KUMAMOTO

熊本県

平成28年の熊本地震の被災地家屋で使用されたブルーシートを再利用して、デザイン性の高いトートバックを、被災した縫製工場や就労継続支援事業所で製造してもらい販売している。売上の一部を被災の支援団体へ寄付するとともに、活動を全国の被災地域に広めている。

熊本農業高校 畜産科 養豚プロジェクト

熊本県

平成28年から、近隣の食品企業の協力のもと食品廃棄物を利用して、豚の発育段階に応じたエコフィード（餌）を開発。企業と畜産農家の仲介役を務め、令和2年からは14軒の畜産農家にエコフィードを提供。食品廃棄物を年間250トン削減し、飼料経費の削減による所得向上に貢献している。



3R活動推進功労（個人）

詠田 トキ子

宮崎県

環境問題に取り組む市民団体を設立する等、約30年にわたり県内の環境問題への取組を支え、現在も環境アドバイザーとして県内で出前講座等を実施。平成30年からは宮崎県4R推進協議会会長に就任し、県内の4Rの普及に大いに尽力した。

3R促進ポスターコンクール最優秀賞表彰

令和5年度3R促進ポスターコンクール入賞作品



小学生低学年の部



安城市立安城東部小学校1年
菅沼 采峯さん

ポスターとして目をひく構図の上手さがある。3Rの複数のことを取り上げ、3R運動の趣旨が明確になっており、自分にできないことではなく、身近なところを取り上げていることを評価した。

小学生中学年の部



伊勢崎市立赤堀南小学校4年
福田 夢來さん

3R促進運動の重要なポイントである、今自分から率先してやっという取組がやがて大きなものになっていく、メッセージ性が非常に高かったところを評価した。

小学生高学年の部



刈谷市立住吉小学校5年
松田 永羽さん

アイデアの勝利。鉄道好きがそれをテーマに3Rを表現したという素直さが端的にでている。デザイン性、色使いもよく、ポスターとして考えられている、好感がもてる作品。

中学生の部



南阿蘇村立南阿蘇中学校3年
吉原 ひよりさん

これまでにない絵画性や、何気ない日常、いかにもありそうなコマを表現している中に、ポスターコンクールの趣旨が端的にちりばめられているというまとまりのよさを評価した。